

探索活動を通して、様々なものと出会い、  
十分にに関わりながら、探求する面白さを味わう

暑い日にはテラスに出て水の感触をじっくり楽しむ姿がありました。はじめは少しずつ触れていましたが、勢いをつけると顔にかかる、全身が濡れる…そんな経験を積むことで水の面白さに気づき、ダイナミックに水と触れるように。面白くて何度も何度も水をはねさせて遊び夢中になる姿がありました。玩具がなくとも子どもたちにとって「水」は面白いもので遊び方がたくさんあるようです。



おままごとに興味をわいていたちっちゃん。カップの中に入れて玩具を混ぜて音を鳴らしてみる、スプーンは口に運ぶものだと食事の経験で知ったのか食べようとする…そういった遊びから、チェーンを麺に見立てたり、包丁はトントンとつついてみたりと、子どもたちの中で色々な使い方を発見していききました。

歌が聞こえてくると「なんだろう？」と興味を持ち自然とそばに集まって体を揺らしたり、手を叩いたり…。目には見えないものとの関わりをじっくり楽しんでいきます。

